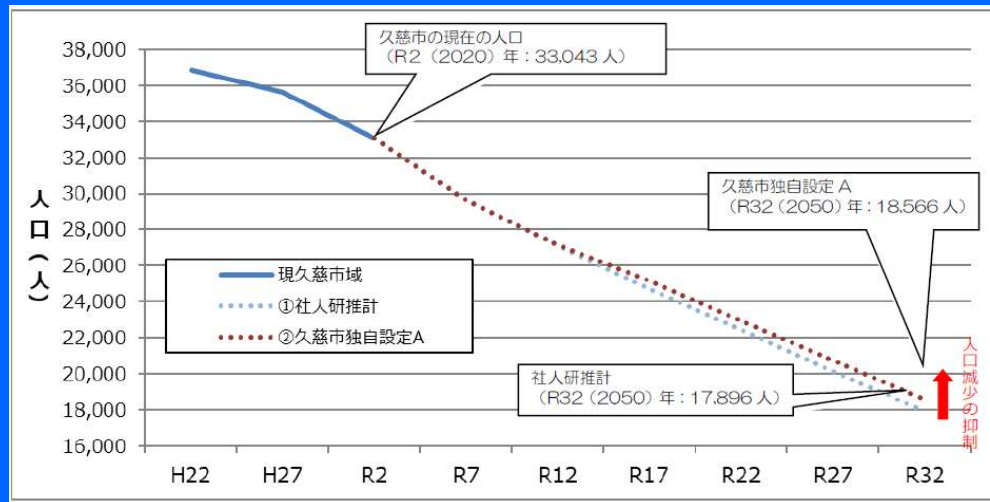


都市構造可視化の活用

～所掌業務全般への積極活用～



出典元：久慈市人口ビジョン_将来人口推計

岩手県久慈市 建設部 建設企画課

1.岩手県久慈市の概要

久慈市の概要



- 人口 30,892人(令和7年3月末現在)
- 面積 623.50km² (東京23区と同等)、山林が64.7%を占める)
- 気候 夏:「やませ」の影響で冷涼
冬:積雪量は少なく、比較的温暖
- 交通 東京-久慈間 約4時間(新幹線・バス)
仙台-久慈間 約4時間(東北自動車道)
- 産業 第1次産業 4,809百万円(3.2%)
第2次産業 57,612百万円(38.4%)
第3次産業 88,492百万円(58.4%)
- 観光キャッチフレーズ

白樺ゆれる



県立自然公園平庭高原に
31万本の日本一の白樺美林

琥珀の大地



約9,000万年前の地層から採
掘される国内最大規模の琥珀

海女の国

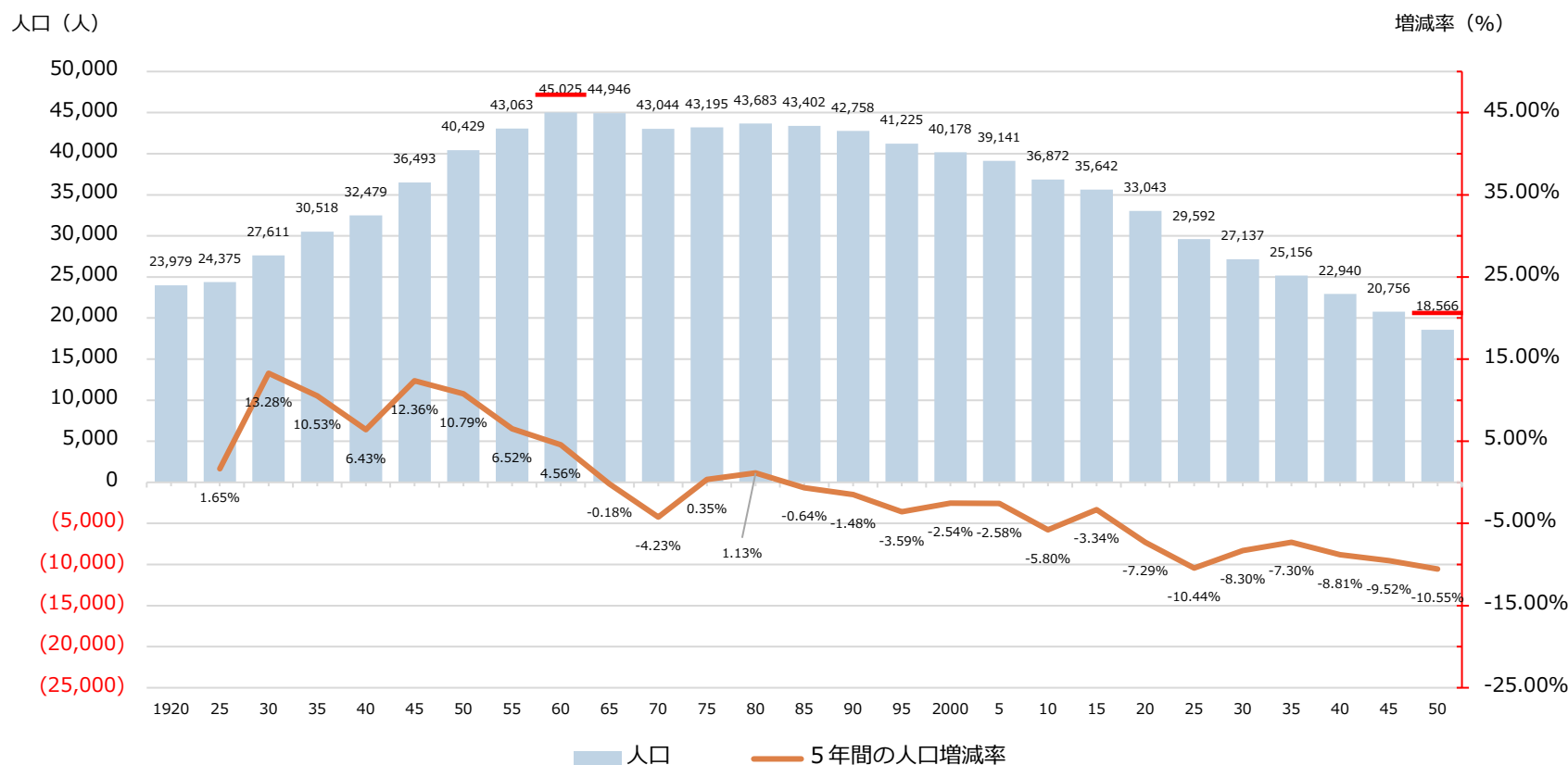


日本で最も北の海女といわれ
ている

2.久慈市の人口トレンドと将来推計

人口減少は不可避

久慈市の人口は1960年（S35_高度経済成長期）約45,000人をピークに減少。
将来人口は、2050年には約18,000人（ピーク時の▲60%）に減少見込み。



出典元：久慈市人口ビジョン_将来人口推計

3.活用事例（住民向けセミナーでの活用）

住民向けセミナーでの人口密度維持の重要性を説明

人口が薄く広がった状態では、サービスの維持が難しくなる可能性を示唆し、人口密度維持の重要性説明の補足資料として活用。

■久慈市人口分布（2000年）



補注 : Data SIO NOAA,U.S.Navy,GEBCO image 2025 Airbus, Google Earth

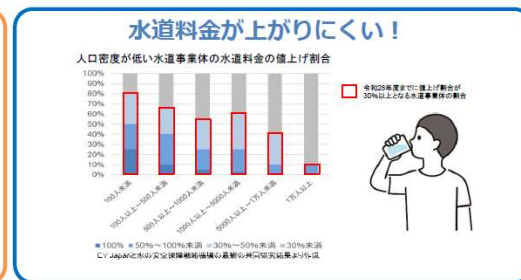
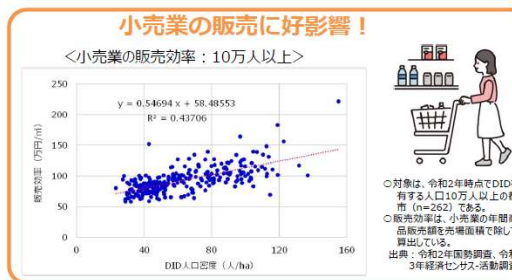
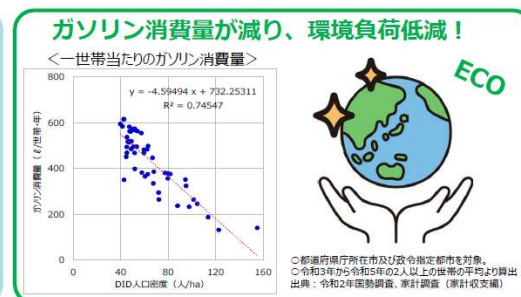
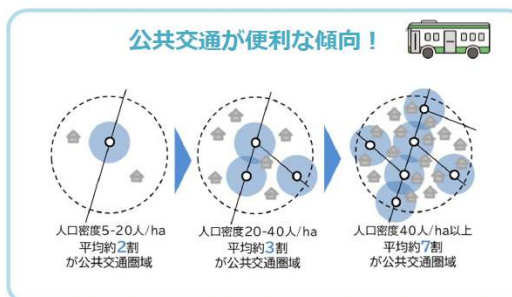
■久慈市人口分布（2020年）



補注 : Data SIO NOAA, U.S. Navy, GEBCO image 2025 Airbus, Google Earth

人口密度を維持・向上させることによる様々な効果

人口密度を維持することの重要性



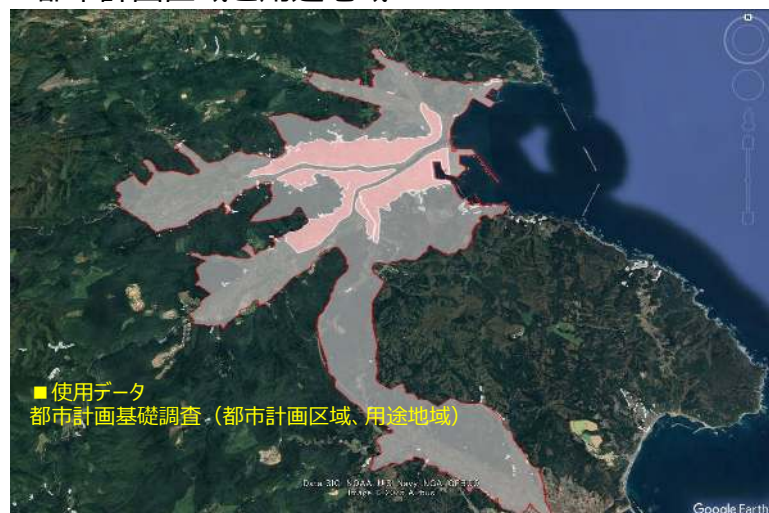
医療、商業等の生活サービス施設や公共交通の維持には、一定の人口集積が必要性を訴求。

4.活用事例（庁内会議での活用）

庁内幹部職員への立地適正化計画検討状況の説明

自然災害のリスクを踏まえた居住誘導区域の設定に向けた検討イメージを説明する際に、リスクを可視化し、補足資料として活用。

■都市計画区域と用途地域

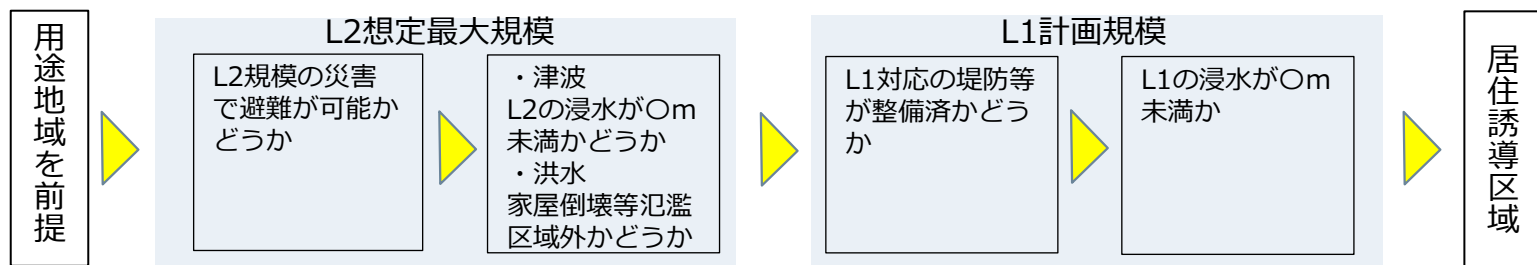


■各種自然災害リスクを可視化



補注：Data SIO NOAA, U.S. Navy, GEBCO image 2025 Airbus, Google Earth

■可視化した災害リスクを踏まえた、今後の検討イメージを説明



5.活用事例（行政連絡区長研修会での活用）

区長研修会における久慈市の空き家の現状説明

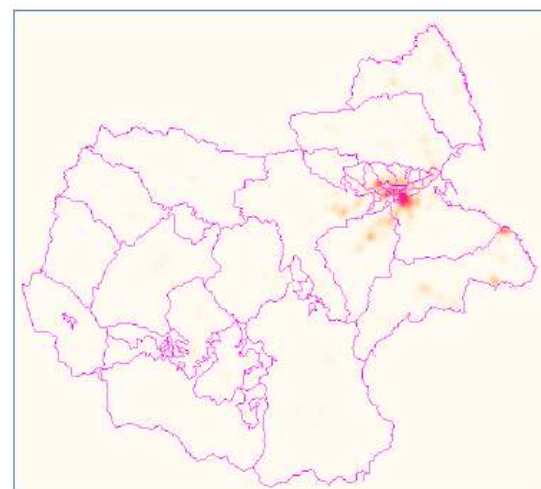
人口減少下において、市内の空き家等件数は増加傾向であり、空き家等の現状について説明する際、メッシュ毎の件数を可視化し、補足資料として活用。

■住宅・土地統計調査結果推移

	平成 15 年度	平成 20 年度	平成 25 年度	平成 30 年度	令和 5 年度
住宅総数（戸）	15,030	15,810	16,100	17,370	16,400
空き家（戸）	2,010	2,520	2,510	3,210	3,490
空き家率（％）	13.4	15.9	16.0	18.5	21.2

■久慈市空き家等実態調査の結果

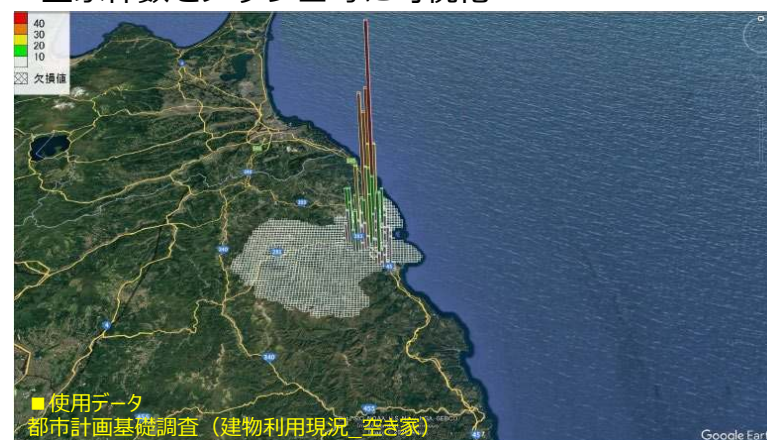
現地調査実施概要	
実施期間	平成 28 年 12 月 20 日から平成 29 年 1 月 31 日まで
調査実施件数	1,969 件
空き家等の可能性が高い建物件数	1,475 件



地区名	空き家等件数	割合
小久慈町	152	10.3%
長内町	214	14.5%
大川目町	109	7.4%
夏井町	91	6.2%
宇部町	191	12.9%
侍浜町	101	6.8%
山根町	35	2.4%
山形町	115	7.8%
久慈	467	31.7%
合 計	1,475	100%

出典元：久慈市空き家等対策計画

■空き家件数をメッシュ毎に可視化



補注：Data SIO NOAA,U.S.Navy,GEBCO image 2025 Airbus, Google Earth

市内に存在する空き家全件の状況を職員のみで把握することは困難なことから、状況変化等の情報提供の協力を促した。

6. 今後の活用に向けて

取組結果の考察と今後の活用について

■ 業務へ積極活用した考察

- ・都市構造等を可視化することで、説明段階で、具体的なイメージを共有することができ、理解醸成が促進された。
- ・上述の効果として、建設的な意見交換や今後の具体的な作業（検討）手順等について議論を深めることにつながった。
- ・これらの結果を踏まえ、市職員のGIS活用について興味関心が高まった。

■ 今後の活用に向けて

- ・立地適正化計画の検討にあたっては、各種自然災害リスクを踏まえると、単純に居住誘導区域候補を抽出することが困難であることから、対策施策（ソフト・ハード）を講じた場合の分析と、それに基づく可視化が必要（建物利用現況データから垂直避難の可能性抽出も一考）。
- ・空き家等対策の検討にあたっては、メッシュ毎の空き家件数による可視化のほか、メッシュ毎の建物件数を分母とした場合の空き家件数の割合を分析、可視化することが重要。
- ・各ステークホルダーとの合意形成において都市構造可視化は効果がみられることから、継続活用していく。

白樺ゆれる 琥珀の大地 海女の国

日本一の「白樺美林」

久慈市と葛巻町の境に広がる平庭高原には、約370haに約31万本の白樺が林立し、日本一の「白樺美林」と呼ばれています。県立自然公園に指定され、四季の大自然を満喫できます。



太古の樹脂の化石「琥珀」

久慈市は世界有数の「琥珀」の産地。久慈の琥珀は、まだ恐竜が地上にいた訳9千万年前のもので、世界でも古い年代の琥珀です。国内唯一の琥珀博物館もあります。



「北限の海女」

「北限の海女」は、久慈市の小袖海岸で活躍する海女さんの総称。NHK連続テレビ小説『あまちゃん』の放送により、全国から注目を浴び、7～9月の実演には多くの人が訪れます。

